

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	約14年11カ月間（2013年 9 月 5 日～2028年 8 月10日）	
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. ダイワ外国債券先進国マザーファンドの受益証券 ロ. ダイワ外国債券新興国マザーファンドの受益証券
	ダイワ外国債券先進国マザーファンド	海外の債券
	ダイワ外国債券新興国マザーファンド	
ベビーファンドの運用方法	①主としてマザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②各マザーファンドの受益証券の組入比率は、信託財産の純資産総額の50％を中心に、40％程度から60％程度の範囲内とします。組入比率の合計は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ③各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨および新興国通貨の中からそれぞれ3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ④投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組 入 制 限	ダイワ外国債券先進国マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10％以下
	ダイワ外国債券新興国マザーファンドの株式組入上限比率	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ外国債券ファンド
（年1回決算型）
－ダイワスピリット（年1回）－

運用報告書（全体版）
第 2 期

（決算日 2015年 8 月10日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外国債券ファンド（年1回決算型）－ダイワスピリット（年1回）－」は、このたび、第2期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

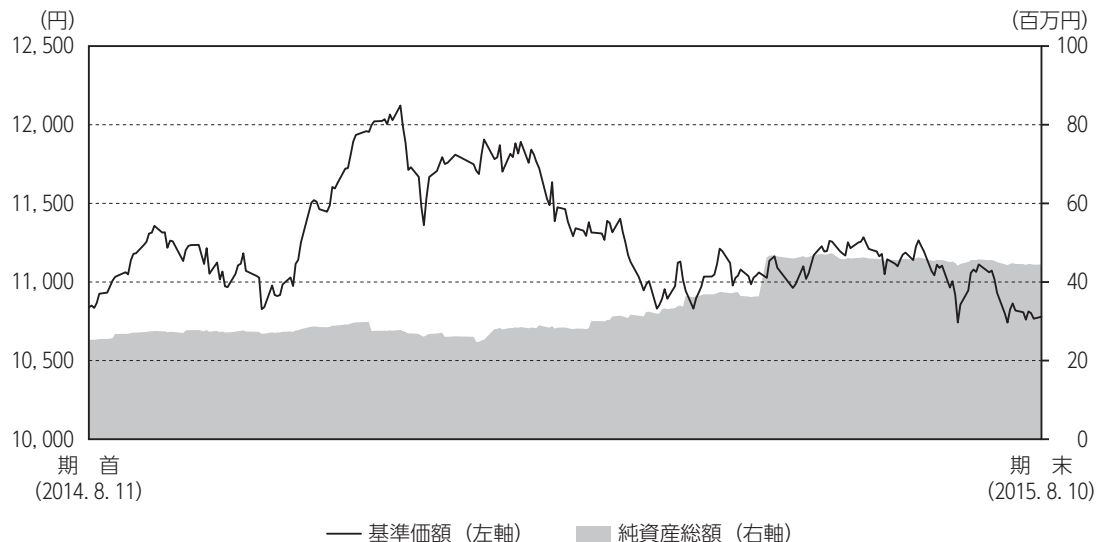
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		J Pモルガン G B I－E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産 総 額
		税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%		%	%	%	百万円
1 期末 (2014年 8 月11日)	10,839	0	8.4	11,104	11.0	10,982	9.8	97.6	—	25
2 期末 (2015年 8 月10日)	10,779	0	△ 0.6	12,685	14.2	11,040	0.5	94.1	△ 4.6	44

- (注 1) シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
- (注 2) J Pモルガン G B I－E Mグローバル ダイバーシファイド（円換算）は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（米ドルベース）を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
- (注 6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期 首：10,839円

期 末：10,779円

騰落率：△0.6%

■組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	9.5%
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	△8.3%

■基準価額の主な変動要因

投資している債券の値下がりおよび通貨の下落が基準価額の値下がり要因となりました。

ダイワ外国債券ファンド（年1回決算型）－ダイワスピリット（年1回）－

年 月 日	基 準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2014年 8 月11日	円	%		%		%	%	%
	10,839	—	11,104	—	10,982	—	97.6	—
8 月末	11,183	3.2	11,335	2.1	11,272	2.6	95.7	—
9 月末	11,016	1.6	11,646	4.9	11,310	3.0	95.6	△ 1.5
10月末	11,252	3.8	11,650	4.9	11,564	5.3	90.8	—
11月末	12,021	10.9	12,645	13.9	12,361	12.6	92.8	△ 2.3
12月末	11,801	8.9	12,827	15.5	11,750	7.0	95.9	△ 5.4
2015年 1 月末	11,725	8.2	12,420	11.9	11,668	6.3	93.9	△ 10.0
2 月末	11,316	4.4	12,478	12.4	11,551	5.2	92.5	△ 10.8
3 月末	10,898	0.5	12,386	11.5	11,227	2.2	95.2	△ 11.7
4 月末	11,163	3.0	12,426	11.9	11,558	5.2	94.1	△ 6.2
5 月末	11,215	3.5	12,680	14.2	11,592	5.6	94.4	△ 6.3
6 月末	11,042	1.9	12,465	12.3	11,310	3.0	95.2	△ 4.5
7 月末	10,818	△ 0.2	12,651	13.9	11,145	1.5	94.6	△ 6.2
(期末) 2015年 8 月10日	10,779	△ 0.6	12,685	14.2	11,040	0.5	94.1	△ 4.6

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について**○海外債券市況****【先進国】**

先進国債券市況は、米国の早期利上げ期待が金利上昇要因となる一方で、原油価格下落による各国物価指標への低下圧力を背景に世界的に金融緩和が広がり、総じて金利低下となりました。米国では、良好な雇用関連指標等から市場の早期利上げ期待が高まったことなどが金利上昇材料となりましたが、資源価格の低下や世界的な金利低下の流れを受けて、金利は横ばい程度の推移となりました。資源国であるオーストラリアとカナダでは、原油価格下落等を背景に経済成長見通しが引下げられたことや政策金利が引下げられたことなどが、金利低下を後押ししました。

【新興国】

新興国債券市況は、各国の個別要因に加えて、米国の金融政策の正常化への思惑等が影響し、総じて金利上昇する展開となりました。ブラジルでは、大統領選挙の結果を受けて改革期待が後退したことや通貨安によるインフレ懸念の高まり、政府汚職問題、財政問題を受けた格下げ懸念の高まりなどを背景に金利は上昇しました。トルコでは、原油安がファンダメンタルズの改善につながるの期待から金利低下する局面もありましたが、2015年6月に行なわれた総選挙で、与党A K P（公正発展党）が第1党を維持したものの単独で過半数を維持することはできず、政治的な不透明感が高まったことが嫌気され金利は上昇しました。南アフリカでは、インフレの低下や財政政策が好感されたことから金利低下する局面もありましたが、海外要因に加えて電力料金の引上げなど将来のインフレが懸念され、金利は上昇しました。

○為替相場**【先進国】**

先進国為替相場は、日本の公的年金の運用比率変更や日銀の追加緩和を材料に、円安での推移となる通貨が多くなりました。米ドルは、将来の利上げ観測の高まりや米国政府高官の米ドル高容認発言を材料に、対円で上昇となりました。資源国通貨であるカナダ・ドルや豪ドルは米ドルと同様に円安推移となる局面もありましたが、資源価格下落や政策金利の引下げの影響を受けて対円での上昇幅を縮小させる動きとなり、カナダ・ドルは対円で小幅な上昇、豪ドルは小幅な下落となりました。

【新興国】

新興国為替相場は、日銀の金融緩和等が支えとなる一方で、新興国からの資金流出懸念に加えて個別国の政治情勢や金融政策の方向性などによりまちまちな相場展開となりました。ブラジル・レアルは、ルセフ大統領が再選を決めたことから構造改革期待が後退したことに加え、政府汚職問題や財政問題、格下げ懸念の高まりを受けて対円で軟調な推移となりました。トルコ・リラは、金融緩和観測が重しとなったことに加えて、政治的な不透明感の高まりを背景に対円で軟調な推移となりました。南アフリカ・ランドは、米国の早期利上げ観測が高まる局面では軟調な推移となったものの日欧の金融緩和の影響から対円で小幅な上昇となりました。

前期における「今後の運用方針」

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

・マザーファンドの組入比率

マザーファンドの組入比率については、各国債券市場の金利、経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

期中のマザーファンドの組入比率については、各国債券市場の金利、経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持しました。

○ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

通貨分配につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

○ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

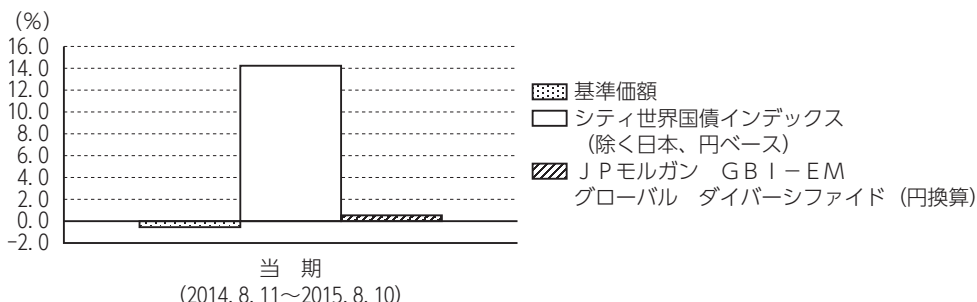
通貨分配につきましては、基本通貨配分（ブラジル・レアル50%、トルコ・リラ25%、南アフリカ・ランド25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債にて運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2014年8月12日 ～2015年8月10日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	779

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

各マザーファンドの組入比率については、各国債券市場の金利、経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

○ダイワ外国債券先進国マザーファンド

引続き、主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

○ダイワ外国債券新興国マザーファンド

引続き、主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2014. 8. 12～2015. 8. 10)		
	金 額	比 率	
信託報酬	154円	1. 369%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11, 259円です。
(投信会社)	(67)	(0. 591)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(83)	(0. 736)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(5)	(0. 042)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0. 013	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(先物)	(1)	(0. 013)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	11	0. 101	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(10)	(0. 093)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0. 007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	167	1. 482	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2014年8月12日から2015年8月10日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外国債券 先進国 マザーファンド	9,672	16,947	3,323	5,834
ダイワ外国債券 新興国 マザーファンド	8,222	14,064	3,338	5,830

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
1	—	1	—	当初設定時における取得とその処分

(注1) 金額は元本ベース。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外国債券先進国 マザーファンド	8,380	14,729	25,946
ダイワ外国債券新興国 マザーファンド	6,887	11,771	18,478

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年8月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	25,946	58.0
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	18,478	41.3
コール・ローン等、その他	302	0.7
投資信託財産総額	44,727	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝124.42円、1カナダ・ドル＝94.61円、1オーストラリア・ドル＝92.02円、1トルコ・リラ＝44.78円、1ブラジル・レアル＝35.47円、1南アフリカ・ランド＝9.84円です。

(注3) ダイワ外国債券先進国マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（38,363,989千円）の投資信託財産総額（38,444,416千円）に対する比率は、99.8%です。
ダイワ外国債券新興国マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（24,456,981千円）の投資信託財産総額（27,293,910千円）に対する比率は、89.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年8月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	44,727,981円
コール・ローン等	302,919
ダイワ外国債券先進国マザーファンド（評価額）	25,946,607
ダイワ外国債券新興国マザーファンド（評価額）	18,478,455
(B) 負債	281,569
未払信託報酬	280,012
その他未払費用	1,557
(C) 純資産総額（A－B）	44,446,412
元本	41,233,514
次期繰越損益金	3,212,898
(D) 受益権総口数	41,233,514口
1万口当り基準価額（C／D）	10,779円

* 期首における元本額は23,321,814円、当期中における追加設定元本額は23,925,412円、同解約元本額は6,013,712円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,779円です。

■損益の状況

当期 自2014年 8月12日 至2015年 8月10日現在	
項 目	当 期
(A) 配当等収益	1円
受取利息	1
(B) 有価証券売買損益	△ 615,644
売買益	1,552,394
売買損	△ 2,168,038
(C) 信託報酬等	△ 477,727
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,093,370
(E) 前期繰越損益金	1,088,549
(F) 追加信託差損益金	3,217,719
(配当等相当額)	(1,331,068)
(売買損益相当額)	(1,886,651)
(G) 合計 (D + E + F)	3,212,898
次期繰越損益金 (G)	3,212,898
追加信託差損益金	3,217,719
(配当等相当額)	(1,331,068)
(売買損益相当額)	(1,886,651)
分配準備積立金	1,088,549
繰越損益金	△ 1,093,370

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	2,124,349
(d) 分配準備積立金	1,088,549
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,212,898
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,212,898
(h) 受益権総口数	41,233,514口

当ファンドは少額投資非課税制度「N I S A（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

●運用報告書（全体版）の電子交付について

2014年12月 1 日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の 2 種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に定めました。

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月 1 日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の 3 分の 2 以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の 3 分の 2 以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

運用報告書 第13期（決算日 2015年 8 月10日）

（計算期間 2015年 2 月11日～2015年 8 月10日）

ダイワ外国債券先進国マザーファンドの第13期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運 用 方 法	①主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

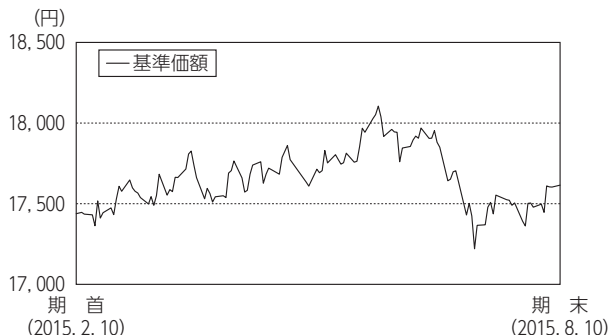
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) (参考指数)		公 社 債	債 券
	騰落率	騰落率	組入比率	先物比率		
(期首) 2015年 2月10日	円 17,438	% —	15,590	% —	% 96.8	% —
2月末	17,577	0.8	15,668	0.5	97.2	△ 21.9
3月末	17,595	0.9	15,552	△ 0.2	97.4	△ 22.1
4月末	17,861	2.4	15,602	0.1	96.9	△ 11.8
5月末	17,943	2.9	15,921	2.1	97.2	△ 11.9
6月末	17,652	1.2	15,651	0.4	96.9	△ 8.5
7月末	17,478	0.2	15,885	1.9	96.9	△ 10.8
(期末) 2015年 8月10日	17,615	1.0	15,927	2.2	97.8	△ 7.8

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注 5) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,438円 期末：17,615円 騰落率：1.0%

【基準価額の主な変動要因】

投資対象通貨の中で、米ドルの対円での値上がり (円安) による為替要因や債券の利息収入によって、基準価額は値上がりしました。一方、投資対象国の債券価格が下落したことによるマイナス要因は、基準価額の値上りを抑える要因となりました。

◆投資環境について

○先進国債券市況

先進国債券市況は、期首より、原油価格が底打ち傾向となる中でディスインフレ圧力の後退が金利上昇を支援しましたが、2015年3月にはFOMC (米連邦公開市場委員会) の声明を受けて同国の利上げが遠のいたとの見方から、金利はやや低下に転じました。4

月末からは、ユーロ圏の金利が大きく上昇に転じ、欧米の金融政策当局者が市場変動の高まりに容認姿勢を示したこともあり、各国の金利もこの動きに連れて上昇しました。6月以降は、欧州でのギリシャ支援問題の混迷や中国株の急落を受けて一時的に安全資産需要が高まり金利低下するなど、金利は上下に振れ幅の大きい展開となりました。7月以降は、原油価格が再び下落に転じて、各国の金利は緩やかな低下傾向で推移しました。

○為替相場

為替相場は、期首より、米ドルが米国政府高官の通貨高容認姿勢を背景に対円で横ばい推移となる一方、物価低迷から量的緩和の導入決定に至ったユーロは対円で下落しました。また、原油の底打ちにより、それまで売られていた豪ドルやカナダ・ドルなどの資源国の通貨も対円で反発傾向となりました。2015年4月末からは、欧米金利が上昇して日本との金利差が拡大するとの観測から、欧州通貨や米ドルが対円で上昇しました。しかし、6月以降にギリシャ支援問題が混迷すると、市場のリスク回避傾向が強まって対米ドルの円安は頭打ちとなりました。7月に入ると再び米国の利上げ観測が注目され、米ドルが対円で緩やかに上昇推移となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分 (豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

引続き、主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物)	2円 (2)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	3 (3)
合 計	5

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2015年 2月11日から2015年 8月10日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル 77, 265	千アメリカ・ドル 79, 069 (—)
		カナダ	千カナダ・ドル 206, 873	千カナダ・ドル 193, 351 (—)
	地方債証券		64, 387	79, 733 (—)
	特殊債券		10, 391	— (—)
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリア・ドル 177, 587	千オーストラリア・ドル 127, 734 (—)
		特殊債券	75, 264	107, 906 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2015年 2月11日から2015年 8月10日まで)

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 68, 758	百万円 66, 052

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年 2月11日から2015年 8月10日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 3. 25% 2021/6/1	7, 006, 966	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 3. 25% 2021/6/1	6, 728, 336
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 3. 25% 2025/4/21	5, 975, 048	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 3. 25% 2025/4/21	4, 415, 501
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 5. 75% 2021/5/15	5, 567, 095	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2. 75% 2024/2/15	3, 987, 845
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2. 25% 2025/6/1	4, 928, 887	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 5. 75% 2021/5/15	3, 957, 658
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2021/2/28	3, 494, 153	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2. 25% 2025/6/1	3, 831, 736
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 1. 75% 2019/3/1	2, 915, 335	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 1. 75% 2019/3/1	3, 050, 057
CANADIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 1. 5% 2017/2/1	2, 474, 344	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 1. 5% 2017/2/1	2, 419, 360
ONTARIO PROVINCE (カナダ) 4% 2021/6/2	2, 219, 871	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1. 5% 2019/2/28	1, 824, 457
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 3. 25% 2018/10/21	1, 999, 334	TREASURY CORP VICTORIA (オーストラリア) 5. 5% 2024/12/17	1, 608, 854
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2. 75% 2024/2/15	1, 777, 532	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア) 3. 25% 2018/10/21	1, 488, 732

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期		当 期			末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちＢＢ格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 73,500	千アメリカ・ドル 74,775	千円 9,303,556	% 24.4	% —	% 20.6	% 3.6	% 0.2
カナダ	千カナダ・ドル 85,000	千カナダ・ドル 96,919	9,169,596	24.0	—	21.2	2.9	—
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 184,600	千オーストラリア・ドル 204,865	18,851,692	49.4	—	34.3	13.4	1.7
合計	—	—	37,324,845	97.8	—	76.1	19.9	1.9

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当 期			末		
区 分	銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	千アメリカ・ドル 5,000	千アメリカ・ドル 5,255	千円 653,932	2024/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	11,000	11,082	1,378,884	2019/02/28
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	28,000	28,389	3,532,184	2021/02/28
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	13,000	12,810	1,593,828	2025/02/15
	Mexico Government International Bond	国債証券	3.6000	5,000	4,992	621,166	2025/01/30
	BELGIUM GOVERNMENT BOND	国債証券	2.8750	10,000	10,293	1,280,655	2024/09/18
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	9.2500	500	577	71,872	2017/07/15
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	7.6250	1,000	1,374	171,031	2023/01/19
通貨小計	銘柄数	8銘柄					
	金額			73,500	74,775	9,303,556	
カナダ	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	3.2500	千カナダ・ドル 13,000	千カナダ・ドル 14,714	千円 1,392,145	2021/06/01
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.7500	11,000	11,497	1,087,760	2019/03/01
	CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.2500	10,000	10,746	1,016,726	2025/06/01
	Province of Quebec Canada	地方債証券	9.3750	9,000	13,692	1,295,431	2023/01/16
	Province of Quebec Canada	地方債証券	4.2500	4,000	4,626	437,745	2021/12/01
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.5000	10,000	11,168	1,056,670	2024/06/02
	ONTARIO PROVINCE	地方債証券	4.0000	10,000	11,377	1,076,396	2021/06/02
	BRITISH COLUMBIA	地方債証券	2.8500	8,000	8,511	805,282	2025/06/18
	CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.4000	10,000	10,584	1,001,437	2022/12/15
通貨小計	銘柄数	9銘柄					
	金額			85,000	96,919	9,169,596	

区 分		当 期			末		
		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額	
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額
オーストラリア				%	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	千円
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.2500	14,000	15,561	1,431,961
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.7500	18,000	21,292	1,959,341
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.7500	17,000	16,993	1,563,698
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	3.2500	16,000	16,545	1,522,555
		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	3.2500	5,000	5,194	478,007
		LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特殊債券	4.2500	10,000	10,638	978,991
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	6.2500	7,000	7,658	704,714
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	2.7500	5,000	4,994	459,612
		KOMMUNALBANKEN	特殊債券	3.5000	5,000	5,128	471,965
		WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特殊債券	7.0000	10,000	12,283	1,130,355
		WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特殊債券	5.0000	5,000	5,698	524,375
		NEW SOUTH WALES TREASURY CORP.	特殊債券	5.0000	10,000	11,555	1,063,337
		QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	6.0000	12,000	14,220	1,308,579
		QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	5.7500	19,000	22,737	2,092,321
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	6.0000	6,000	6,331	582,580
		INTL. FIN. CORP.	特殊債券	5.7500	5,000	5,695	524,058
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.5000	10,000	11,432	1,052,037
		ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	5.5000	600	610	56,146
		ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	5.0000	5,000	5,589	514,382
		INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	2.7500	5,000	4,701	432,668
通貨小計	銘柄数	20銘柄					
	金額				184,600	204,865	18,851,692
合計	銘柄数	37銘柄					
	金額						37,324,845

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘 柄 別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
		百万円	百万円
外国	T-NOTE (5YR) (アメリカ)	—	2,976

(注 1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年 8月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	37,324,845	97.1
コール・ローン等、その他	1,119,570	2.9
投資信託財産総額	38,444,416	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝124.42円、1カナダ・ドル＝94.61円、1オーストラリア・ドル＝92.02円です。

(注 3) 当期末における外貨建純資産 (38,363,989千円) の投資信託財産総額 (38,444,416千円) に対する比率は、99.8% です。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年8月10日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	38,818,429,379円
コール・ローン等	496,518,408
公社債（評価額）	37,324,845,742
未収入金	374,850,500
未収利息	254,231,359
前払費用	76,754,527
差入委託証拠金	291,228,843
(B)負債	666,897,593
未払金	386,897,593
未払解約金	280,000,000
(C)純資産総額（A－B）	38,151,531,786
元本	21,659,023,541
次期繰越損益金	16,492,508,245
(D)受益権総口数	21,659,023,541口
1万口当り基準価額（C／D）	17,615円

- *期首における元本額は20,991,218,129円、当期中における追加設定元本額は1,444,899,850円、同解約元本額は777,094,438円です。
- *当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－21,644,293,704円、ダイワ外国債券ファンド（年1回決算型）－ダイワスピリット（年1回）－14,729,837円です。
- *当期末の計算口数当りの純資産額は17,615円です。

■損益の状況

当期 自2015年2月11日 至2015年8月10日

項 目	当 期
(A)配当等収益	650,676,025円
受取利息	649,848,099
その他収益金	827,926
(B)有価証券売買損益	△ 145,590,570
売買益	928,516,049
売買損	△ 1,074,106,619
(C)先物取引等損益	△ 94,863,756
取引益	104,205,281
取引損	△ 199,069,037
(D)その他費用	△ 5,954,144
(E)当期損益金（A＋B＋C＋D）	404,267,555
(F)前期繰越損益金	15,614,069,102
(G)解約差損益金	△ 594,085,562
(H)追加信託差損益金	1,068,257,150
(I)合計（E＋F＋G＋H）	16,492,508,245
次期繰越損益金（I）	16,492,508,245

- (注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2015年 8 月10日)

(計算期間 2015年 2 月11日～2015年 8 月10日)

ダイワ外国債券新興国マザーファンドの第13期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運 用 方 法	①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で新興国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

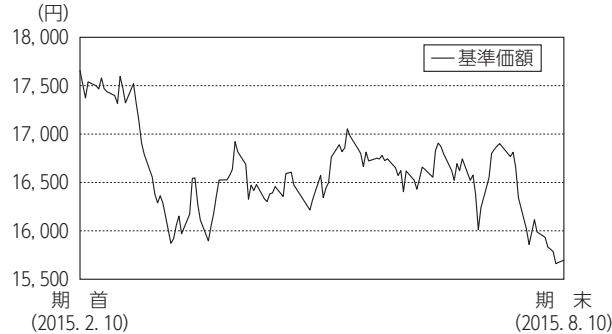
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グロ-バル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 券 組入比率		債 券 先物比率	
	円	騰落率 (%)	(参考指数)	騰落率 (%)	%	%	%	%
(期首) 2015年 2月10日	17,657	—	18,834	—	88.2	—	—	—
2月末	17,322	△ 1.9	18,875	0.2	88.2	—	—	—
3月末	16,045	△ 9.1	18,345	△ 2.6	93.1	—	—	—
4月末	16,606	△ 6.0	18,886	0.3	91.1	—	—	—
5月末	16,722	△ 5.3	18,941	0.6	91.3	—	—	—
6月末	16,522	△ 6.4	18,481	△ 1.9	93.4	—	—	—
7月末	15,988	△ 9.5	18,211	△ 3.3	91.7	—	—	—
(期末) 2015年 8月10日	15,697	△ 11.1	18,040	△ 4.2	89.0	—	—	—

- (注 1) 騰落率は期首比。
- (注 2) J Pモルガン G B I - E Mグロ-バル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グロ-バル ダイバーシファイド (米ドルベース) を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グロ-バル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
- (注 5) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,657円 期末：15,697円 騰落率：△11.1%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入はプラスに寄与しましたが、債券価格や投資している通貨の対円レートが下落したことが、基準価額の値下がり要因となりました。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国債券市況は、各国の個別要因に加えて、米国の金融政策の正常化への思惑等が影響し、総じて金利上昇する展開となりました。

ブラジルでは、インフレへの警戒から政策金利の引上げが連続で行なわれました。財政健全化への期待が高まる局面では金利は低下しましたが、通貨安によるインフレ懸念の高まりや政府汚職問題、プライマリーバランス (基礎的財政収支) の黒字目標引下げなど財政問題を受けた格下げ懸念の高まりなどを背景に、金利は上昇しました。

トルコでは、2015年 6月に行なわれた総選挙で、与党 A K P (公正発展党) が第 1 党を維持したものの単独で過半数を維持することはできませんでした。これにより政治的な不透明感が高まったことが嫌気され金利は上昇しました。

南アフリカでは、海外要因に加えて、電力料金の引上げなど将来のインフレが懸念され、金利は上昇しました。

○為替相場

対円為替相場は、新興国からの資金流出懸念等を背景に各通貨共に下落しました。

ブラジル・リアルは政府汚職問題や財政問題、格下げ懸念の高まりを受けて対円で軟調な推移となりました。

トルコ・リラは、原油価格が反転したことや政治的な不透明感の高まりを背景に、対円で軟調な推移となりました。

南アフリカ・ランドは、発表された経済指標に良好なものが見られたことを背景に堅調な推移となる局面もありましたが、外部要因に振られて対円で軟調な推移となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分 (ブラジル・リアル50%、トルコ・リラ25%、南アフリカ・ランド25%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

当期の債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債にて運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

引続き、主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	14 (14)
合 計	14

(注 1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2015 年 2 月 11 日から 2015 年 8 月 10 日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	トルコ	国債証券	千トルコ・リラ 45, 856	千トルコ・リラ 99, 434 (—)
	ブラジル	国債証券	千ブラジル・レアル 85, 582	千ブラジル・レアル 97, 259 (—)
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカ・ランド —	千南アフリカ・ランド 266, 242 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注 2) (—)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015 年 2 月 11 日から 2015 年 8 月 10 日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	千円	銘 柄	千円
Turkey Government Bond (トルコ) 8% 2025/3/12	2, 057, 022	Turkey Government Bond (トルコ) 10. 5% 2020/1/15	1, 845, 278
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2016/7/1	1, 698, 707	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8. 75% 2048/2/28	1, 525, 617
Brazil Letras do Tesouro Nacional (ブラジル) 2016/10/1	1, 649, 290	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2023/1/1	1, 385, 548
		Turkey Government Bond (トルコ) 9% 2024/7/24	1, 367, 418
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2025/1/1	1, 364, 620
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 10. 5% 2026/12/21	1, 137, 146
		Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F (ブラジル) 10% 2021/1/1	1, 042, 232
		Turkey Government Bond (トルコ) 8% 2025/3/12	813, 652
		Turkey Government Bond (トルコ) 8. 3% 2018/6/20	216, 081
		Turkey Government Bond (トルコ) 7. 1% 2023/3/8	196, 933

(注 1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注 2) 単位未満は切捨て。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期		当 期			末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちＢＢ格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年末満
	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ	千円	%	%	%	%	%
トルコ	125,000	122,050	5,465,399	20.2	—	18.6	1.6	—
ブラジル	千ブラジル・レアル 440,000	千ブラジル・レアル 365,557	12,966,320	47.9	—	4.4	16.7	26.8
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 600,000	千南アフリカ・ランド 576,936	5,677,050	21.0	—	17.4	3.6	—
合計	—	—	24,108,770	89.0	—	40.4	21.9	26.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当 期			末		
区 分	銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	%	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ	千円	
			7.1000	10,000	8,730	390,929	2023/03/08
			8.3000	10,000	9,685	433,694	2018/06/20
			8.8000	20,000	19,220	860,671	2023/09/27
			10.4000	45,000	47,385	2,121,900	2024/03/20
			9.0000	10,000	9,715	435,037	2024/07/24
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	8.0000	30,000	27,315	1,223,165	2025/03/12
通貨小計	銘柄数	6銘柄					
	金額			125,000	122,050	5,465,399	
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	千ブラジル・レアル	千ブラジル・レアル	千円	
			10.0000	30,000	28,470	1,009,852	2017/01/01
			10.0000	20,000	17,288	613,219	2021/01/01
			—	50,000	47,391	1,680,958	2016/01/01
			10.0000	40,000	36,961	1,311,013	2018/01/01
			10.0000	10,000	8,337	295,713	2023/01/01
			—	50,000	44,308	1,571,622	2016/07/01
			—	50,000	41,466	1,470,799	2017/01/01
			10.0000	10,000	8,111	287,700	2025/01/01
			—	30,000	21,918	777,452	2018/01/01
			—	100,000	68,508	2,429,978	2018/07/01
			—	50,000	42,797	1,518,009	2016/10/01
通貨小計	銘柄数	11銘柄					
	金額			440,000	365,557	12,966,320	
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.2500	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド	千円	
			10.5000	100,000	98,280	967,075	2020/01/15
			6.2500	100,000	117,210	1,153,346	2026/12/21
			6.7500	50,000	38,476	378,603	2036/03/31
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.7500	100,000	95,225	937,014	2021/03/31

区 分		当 期		末		評 価 額		償還年月日
		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.5000%	千南アフリカ・ランド 50,000	千南アフリカ・ランド 38,805	千円 381,841	2041/02/28
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.0000	50,000	43,385	426,908	2031/02/28
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	50,000	49,845	490,474	2048/02/28
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	100,000	95,710	941,786	2030/01/31
通貨小計	銘柄数	8銘柄						
	金額				600,000	576,936	5,677,050	
合計	銘柄数	25銘柄						
	金額						24,108,770	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年8月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 24,108,770	% 88.3
コール・ローン等、その他	3,185,140	11.7
投資信託財産総額	27,293,910	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月10日における邦貨換算レートは、1トルコ・リラ=44.78円、1ブラジル・レアル=35.47円、1南アフリカ・ランド=9.84円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産(24,456,981千円)の投資信託財産総額(27,293,910千円)に対する比率は、89.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年8月10日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	29,814,495,093円
コール・ローン等	2,876,133,867
公社債(評価額)	24,108,770,218
未収入金	2,520,740,000
未収利息	279,030,480
前払費用	29,820,528
(B)負債	2,729,787,100
未払金	2,549,787,100
未払解約金	180,000,000
(C)純資産総額(A-B)	27,084,707,993
元本	17,254,894,686
次期繰越損益金	9,829,813,307
(D)受益権総口数	17,254,894,686口
1万口当り基準価額(C/D)	15,697円

*期首における元本額は21,944,952,308円、当期中における追加設定元本額は5,433,727円、同解約元本額は4,695,491,349円です。
*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド(毎月分配型)ーダイワスピリットー17,243,122,720円、ダイワ外国債券ファンド(年1回決算型)ーダイワスピリット(年1回)ー11,771,966円です。
*当期末の計算口数当りの純資産額は15,697円です。

■損益の状況

当期 自2015年2月11日 至2015年8月10日

項 目	当 期
(A)配当等収益	1,452,353,980円
受取利息	1,452,353,980
(B)有価証券売買損益	△ 5,344,920,087
売買益	94,237,180
売買損	△ 5,439,157,267
(C)その他費用	△ 26,938,658
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 3,919,504,765
(E)前期繰越損益金	16,803,297,450
(F)解約差損益金	△ 3,057,508,651
(G)追加信託差損益金	3,529,273
(H)合計(D+E+F+G)	9,829,813,307
次期繰越損益金(H)	9,829,813,307

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。